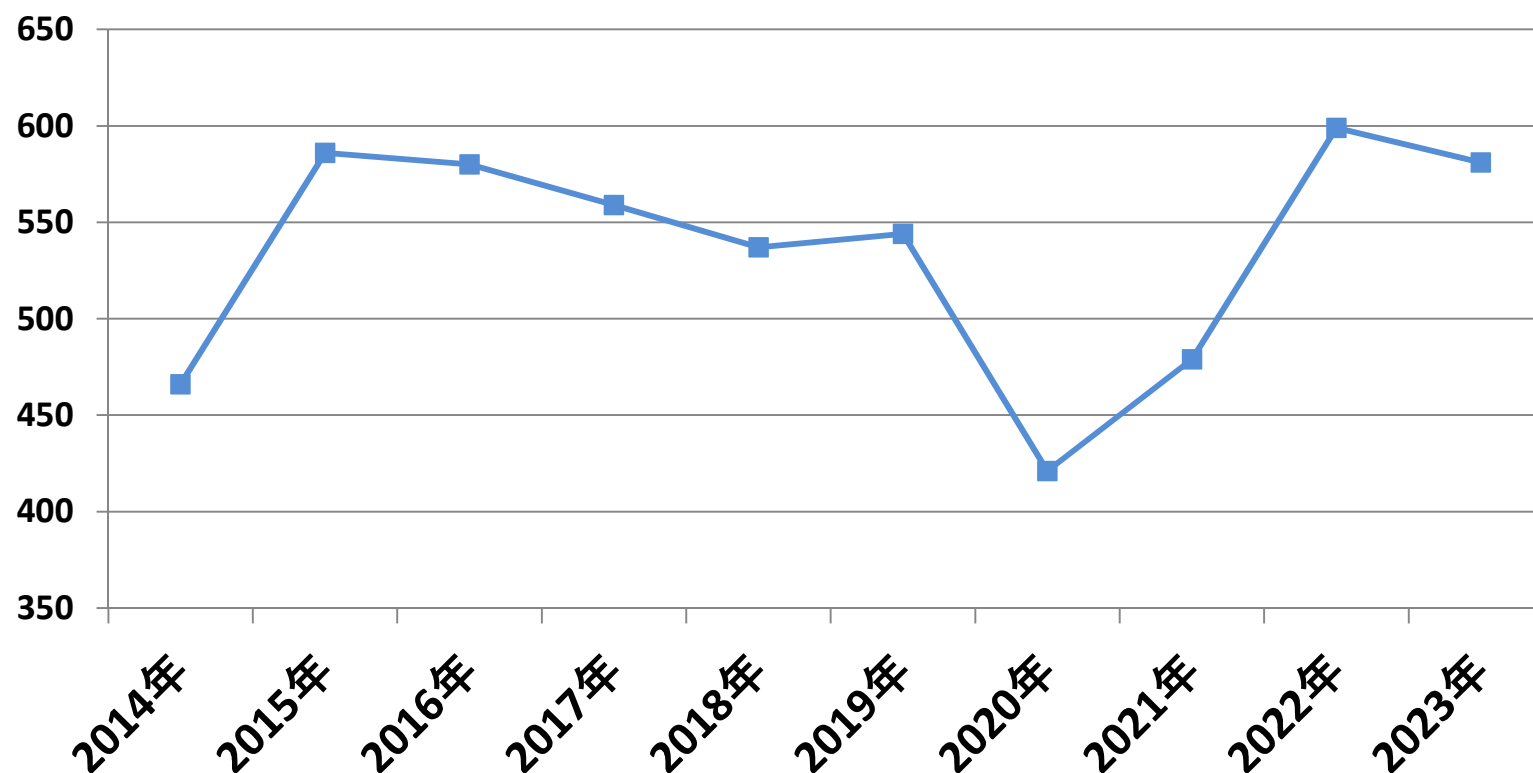


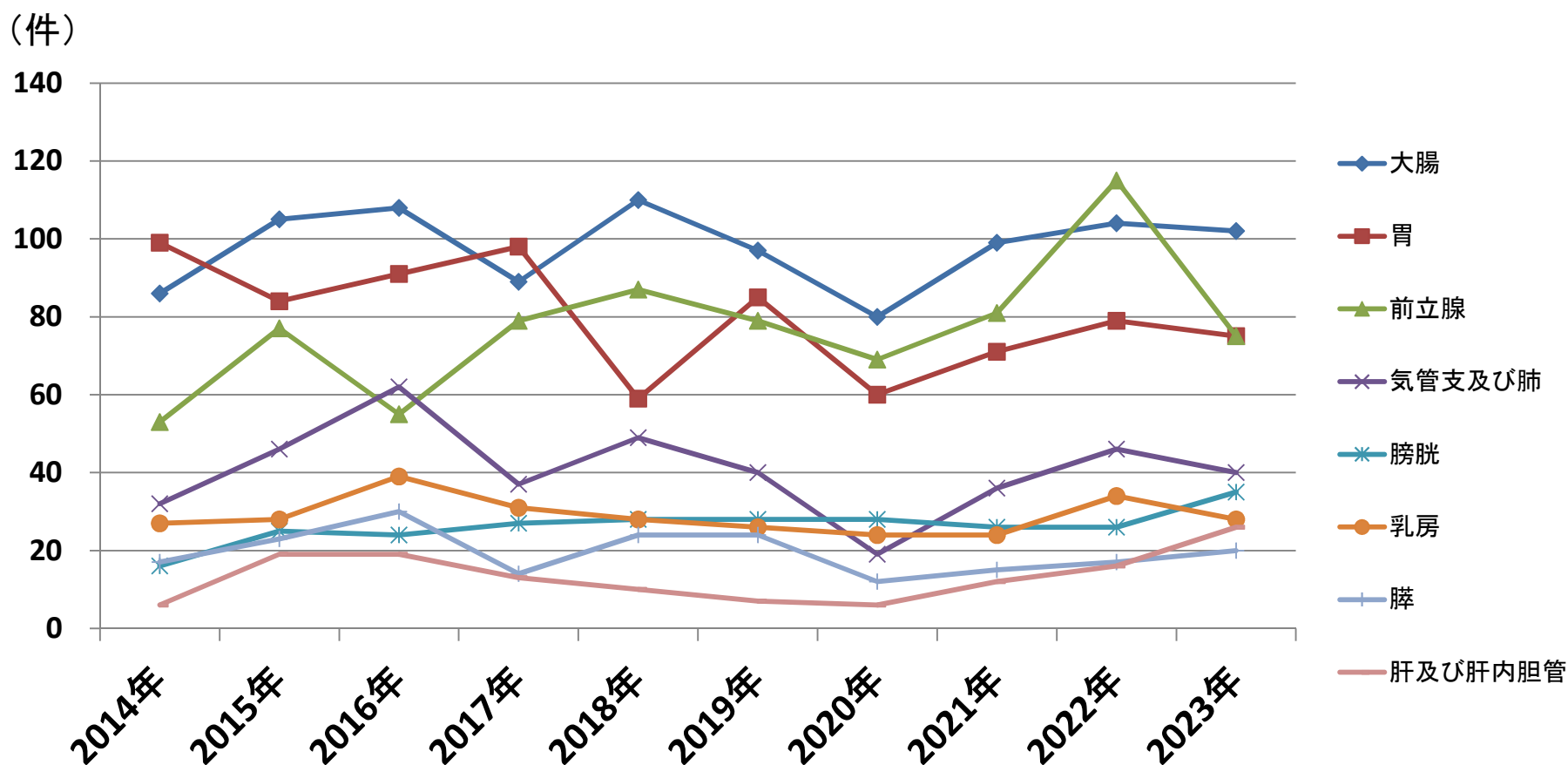
# がん登録件数の推移(全症例)

(件)



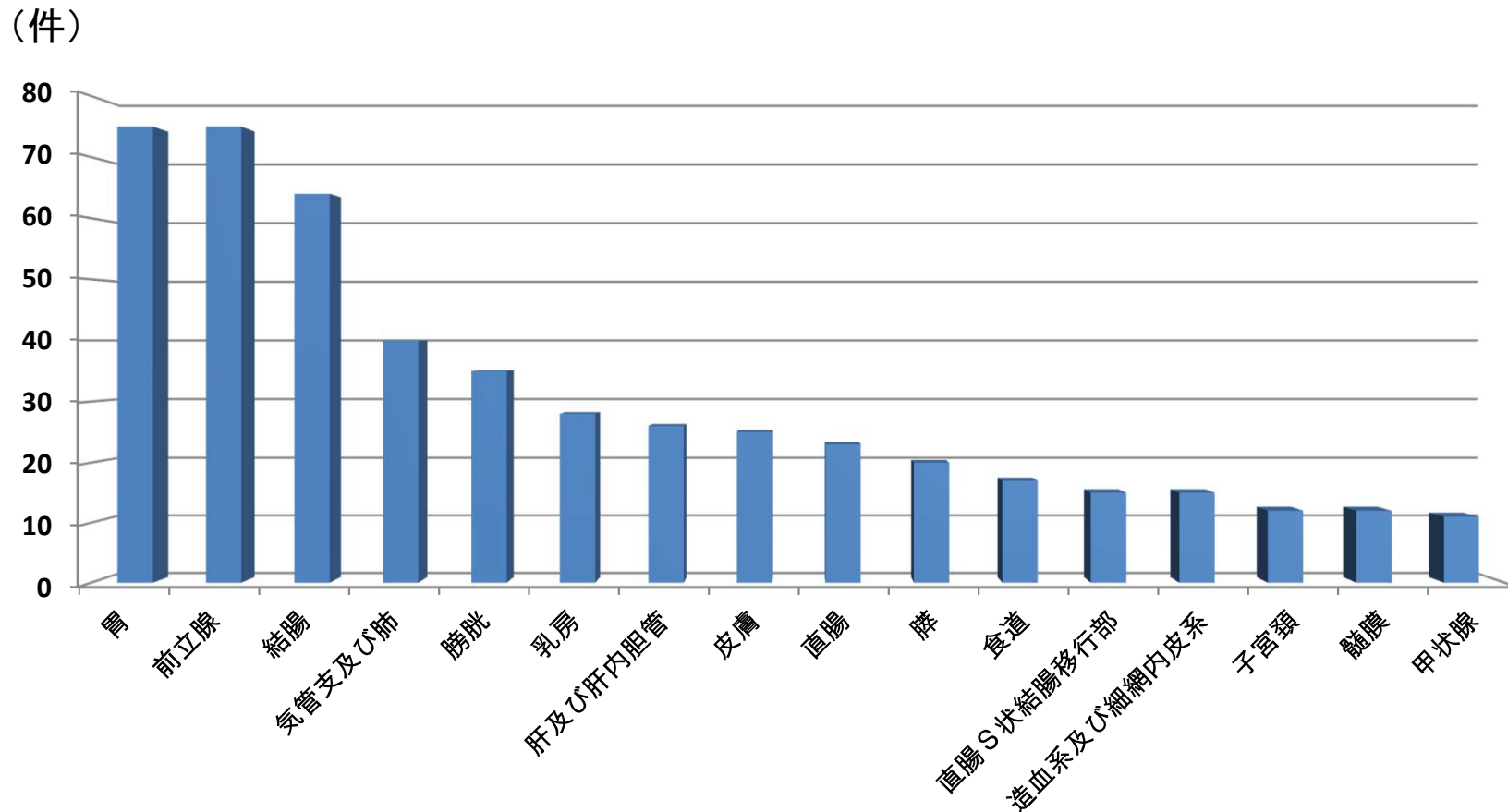
2023年診断症例の登録件数は581件でした。

# がん登録件数の推移(部位別)



大腸がん・胃がん・前立腺がんの件数が多い傾向です。

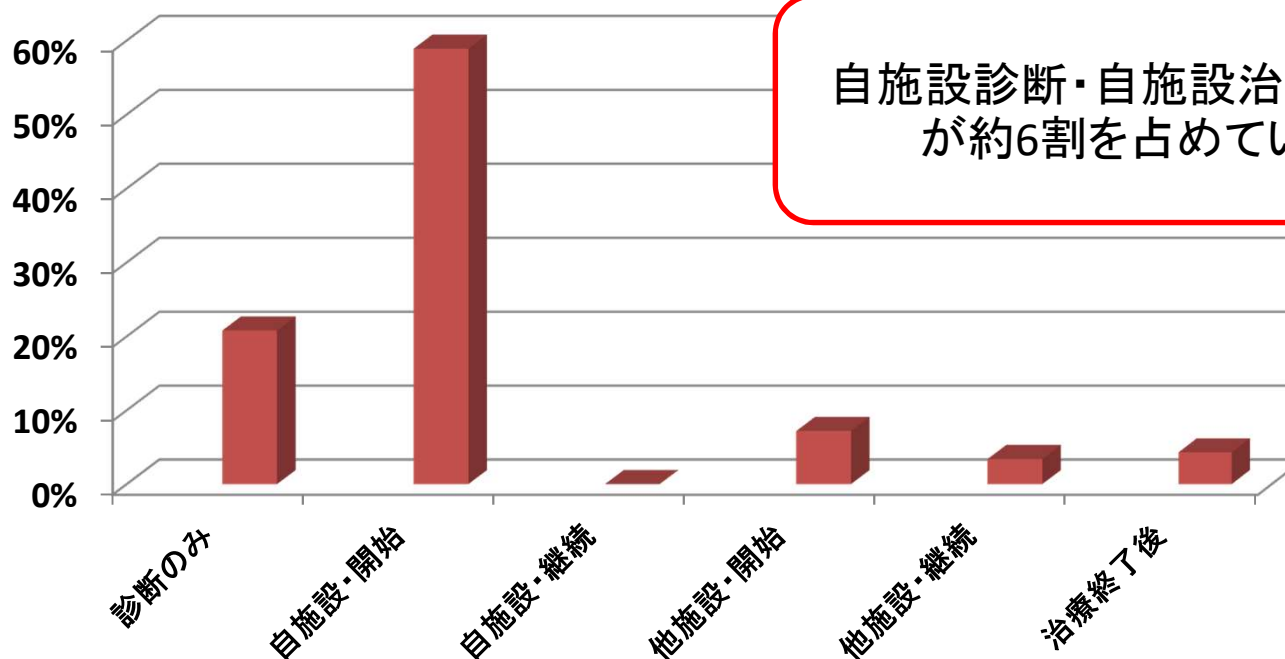
# 2023年診断症例部位別件数 (年間10症例以上)



胃・前立腺の順ですが、結腸・直腸・直腸S状結腸移行部を合計すると大腸が1番目に多い症例となります。

# 2023年診断症例 症例区分別割合

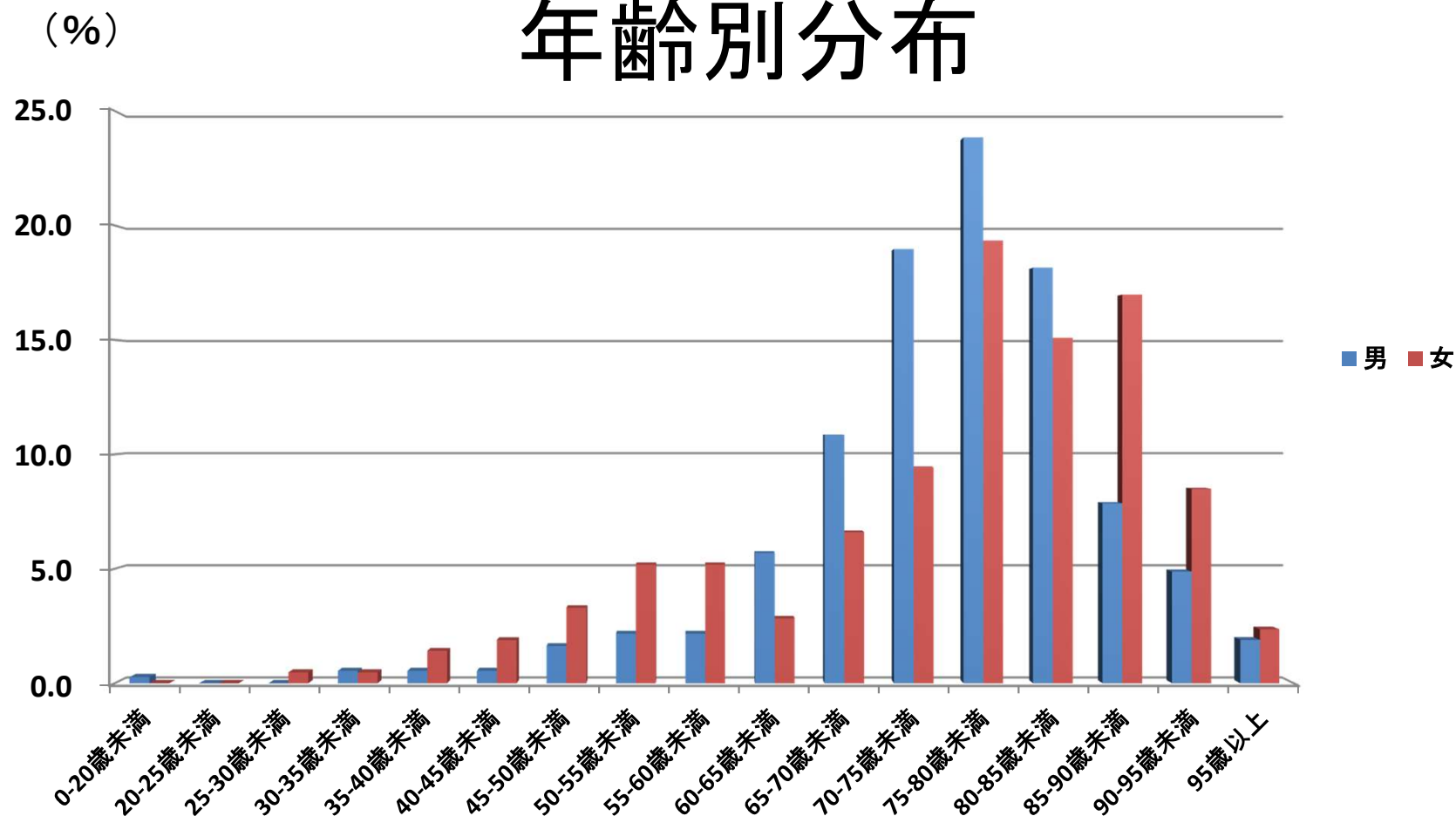
(%)



自施設診断・自施設治療開始症例  
が約6割を占めています。

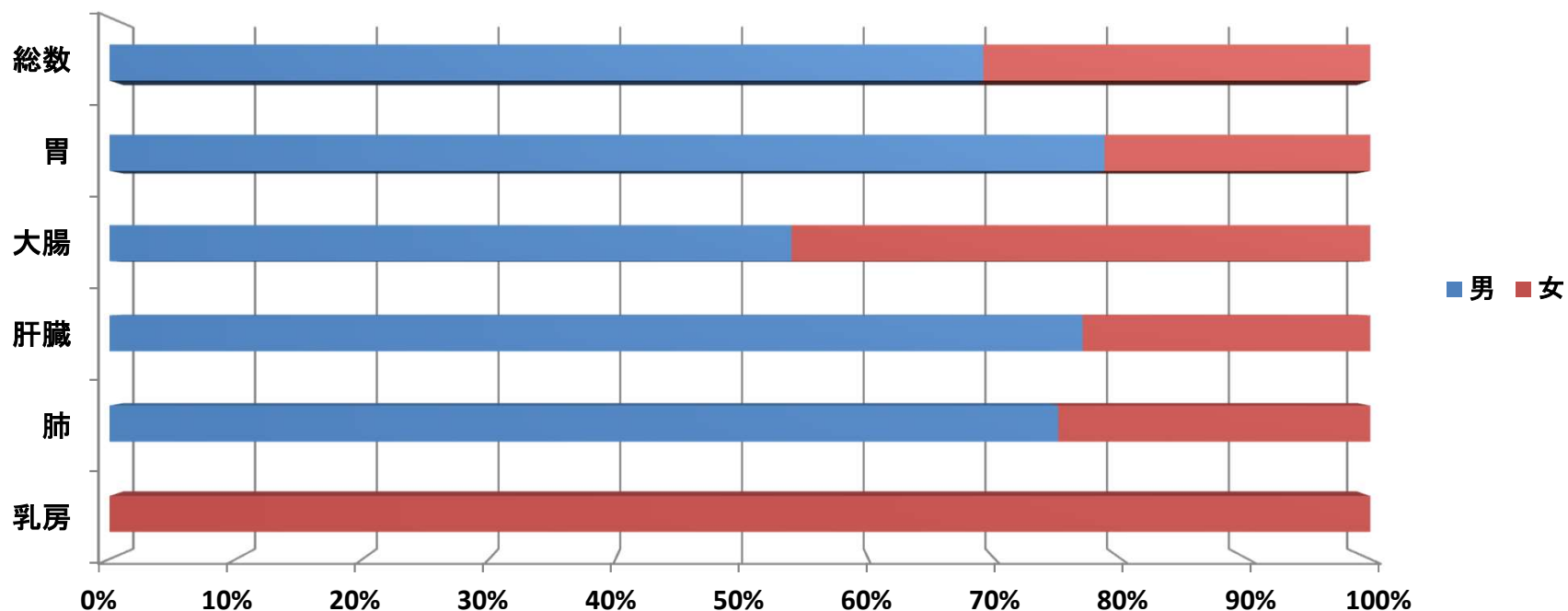
自施設・開始: 自施設診断・自施設治療開始  
自施設・継続: 自施設診断・自施設初回治療継続  
他施設・開始: 他施設診断・自施設初回治療開始  
他施設・継続: 他施設診断・自施設初回治療継続

# 2023年診断症例 年齢別分布



男女とも75-80歳未満が最も多い年齢階層となっています。

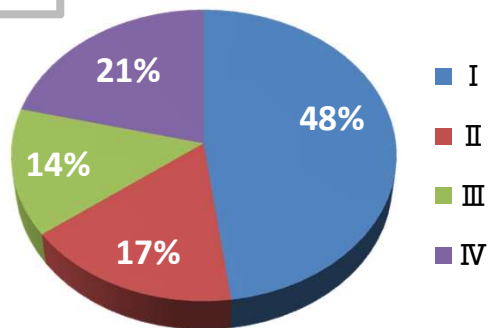
# 5大がん男女比率 (2023年診断症例)



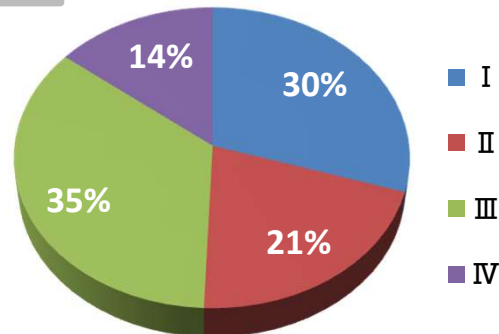
胃がん・肝臓がん・肺がんは男性の割合が多くなっています。

# がん登録ステージ別 (2023年診断症例)

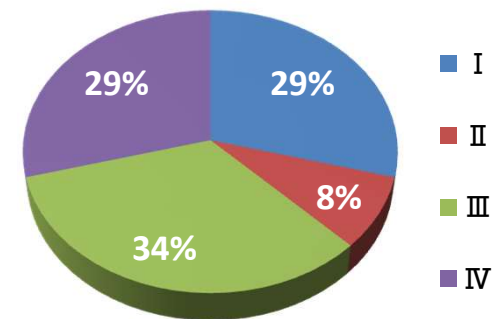
胃



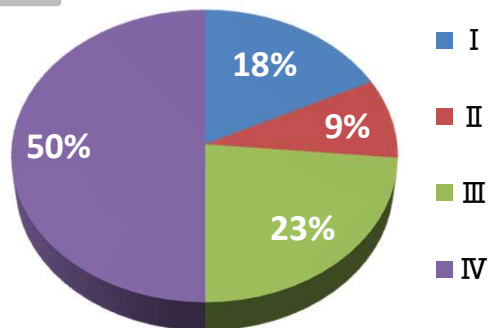
大腸



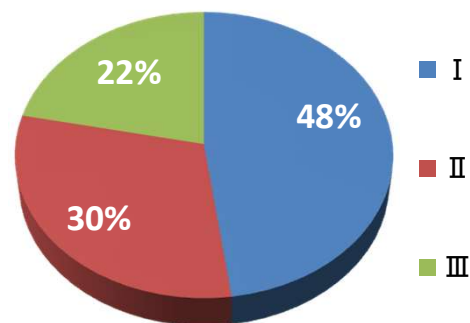
肝



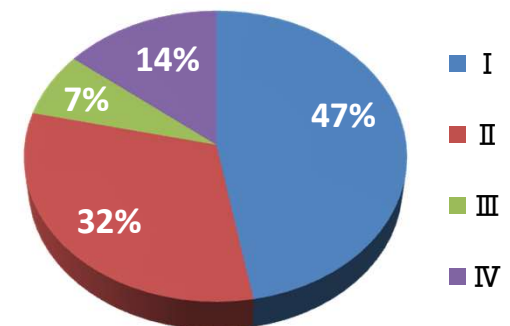
肺



乳腺



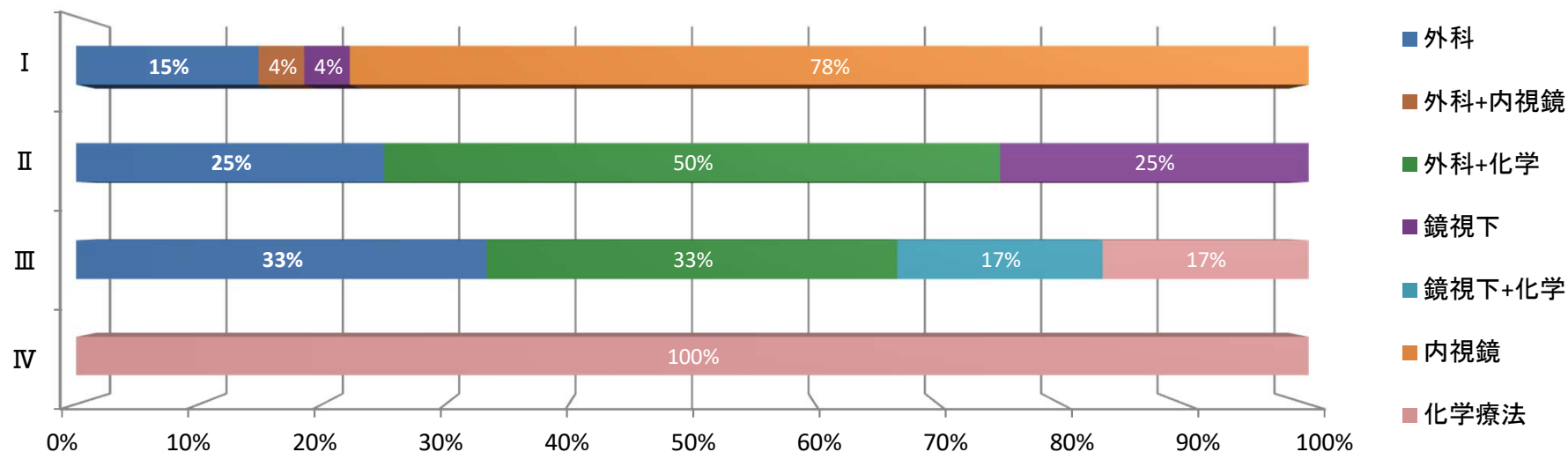
前立腺



2023年症例

## ステージ別／治療別：胃

早期癌は内視鏡での治療が多く行われます



### 治療の種類

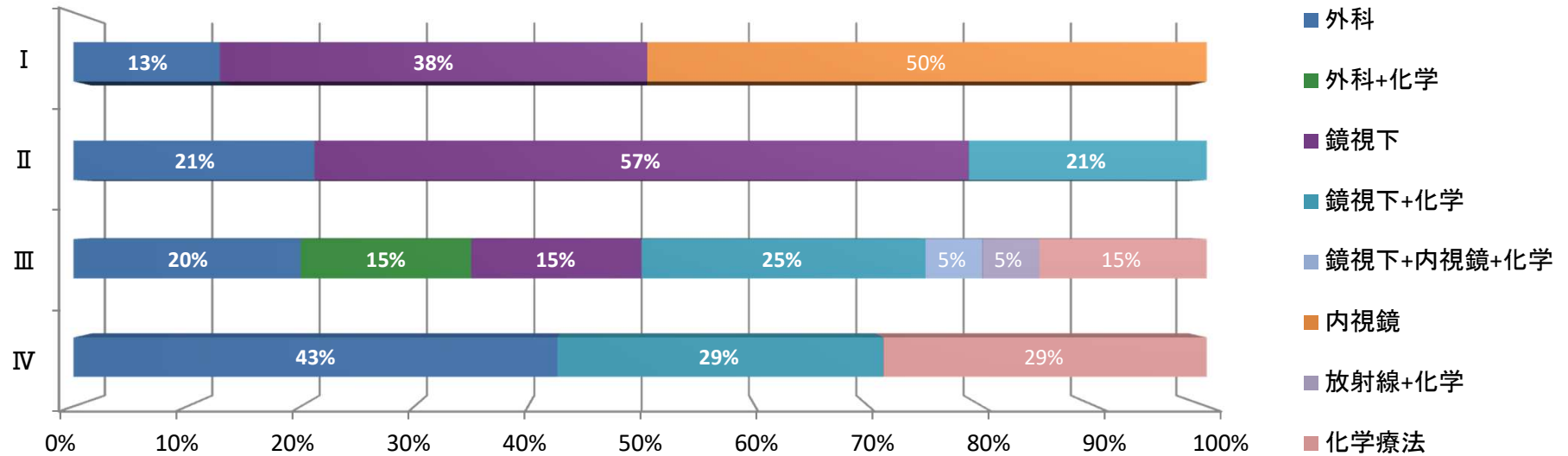
外科	外科的治療（肉眼的視野下の外科的手技による病巣切除術）
鏡視下	鏡視下治療（腹腔鏡／胸腔鏡などを用いた手術）
内視鏡	内視鏡的治療（自然開口部からカメラ等を挿入して、その視野を用いて行われる切除術）
放射線	放射線療法
化学	化学療法（抗がん剤、分子標的薬等）
内分泌	内分泌療法（特定のホルモン分泌を抑制することで腫瘍の増殖を阻止）
その他	血管塞栓術、免疫療法、光線焼灼術等

※自施設で行った初回治療（経過観察を除く）のみを対象とします

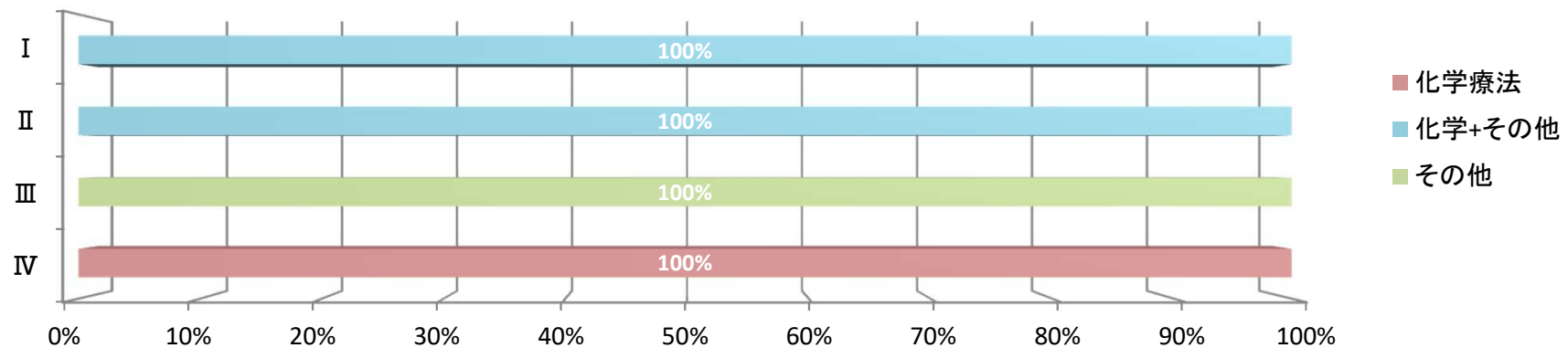
※ステージは術後病理学的病期を優先し、手術なし／術前治療後に手術を行った場合は臨床病期を用いています



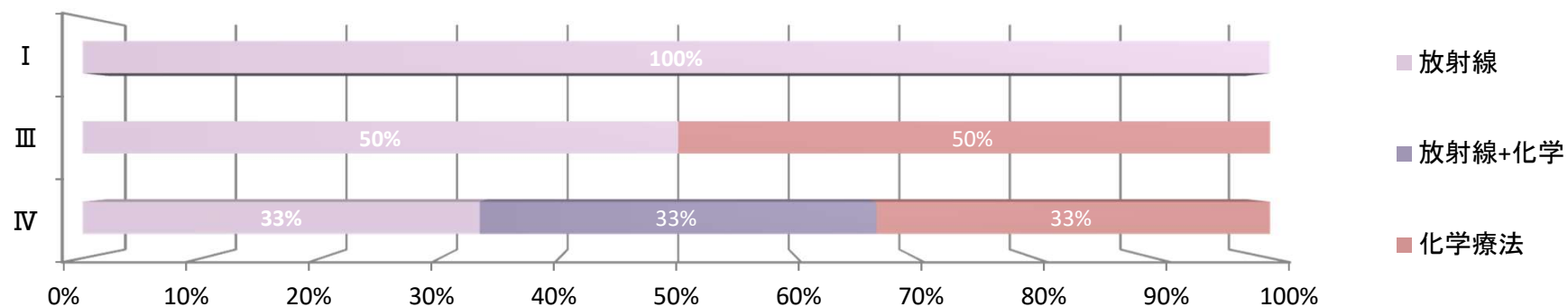
## ステージ別／治療別：大腸



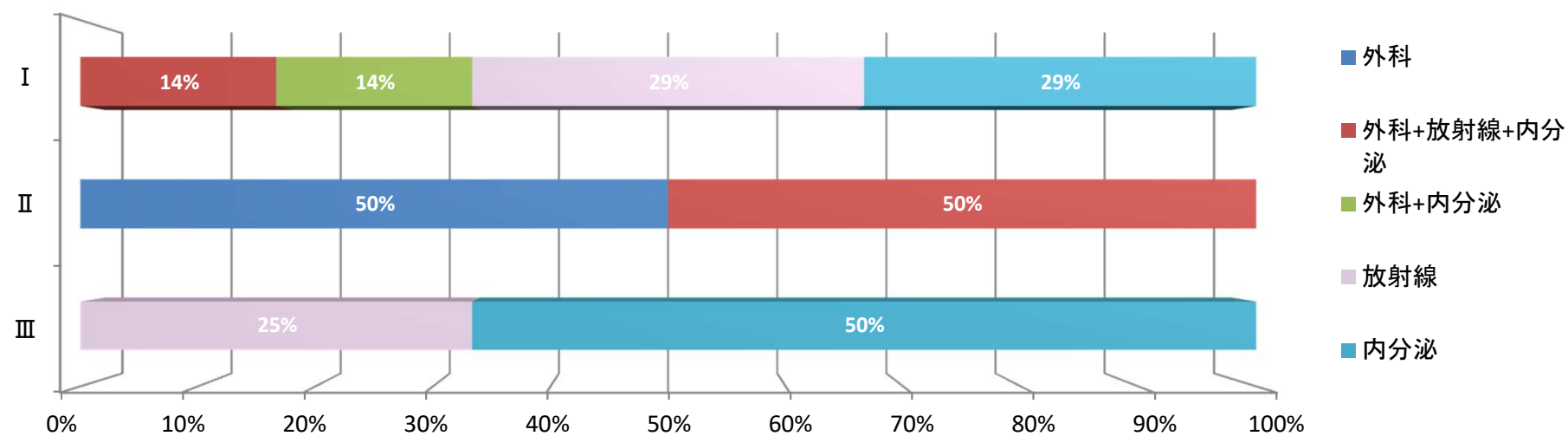
## ステージ別／治療別：肝



## ステージ別／治療別：肺

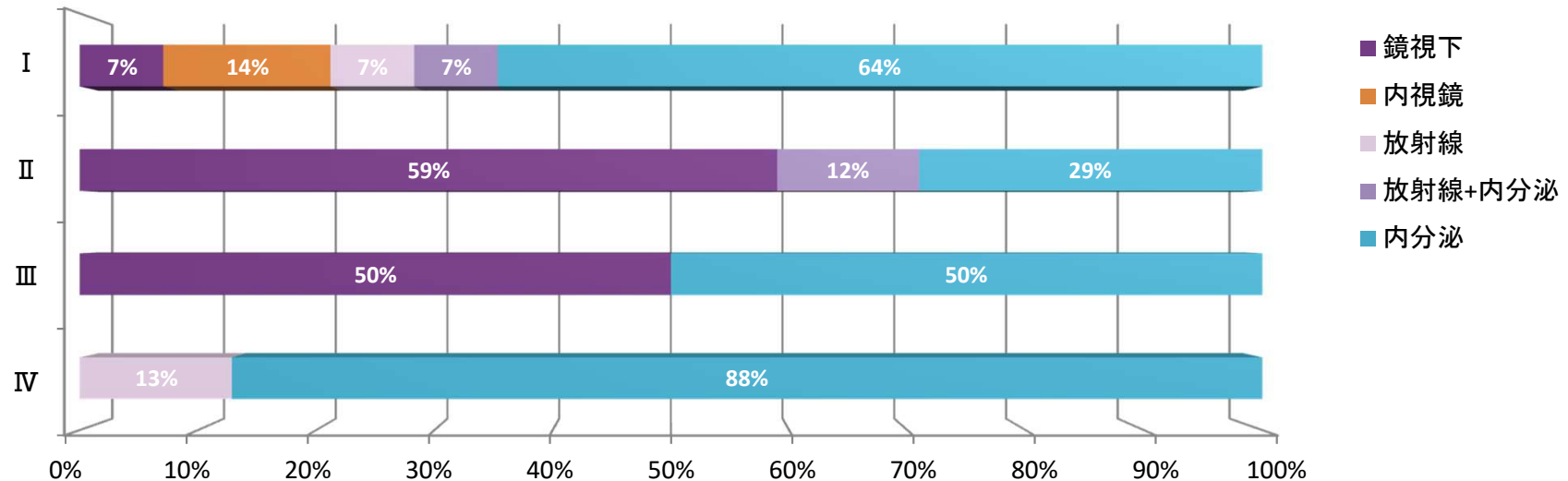


## ステージ別／治療別：乳腺



## ステージ別／治療別：前立腺

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術が多く行われています



※ロボット支援手術とは、患部を摘出する腹腔鏡手術を医療用ロボットを使って行うものです。

前立腺や直腸などがある狭い骨盤内でも正確で繊細な操作が可能で、出血量の減少や機能温存、術後の早期回復等が期待されます。

当院では、泌尿器科で前立腺癌に対する前立腺全摘術、外科で直腸癌に対する直腸切除・切断術をロボット支援により行っています。